

## 13 去勢抵抗性前立腺癌における

# 新規AR阻害剤治療に伴う疲労・倦怠感に対する人参養栄湯の効果について

千葉大学医学部附属病院 泌尿器科

今村 有佑、柴田 裕貴、山田 康隆、五島 悠介、  
佐塚 智和、坂本 信一、市川 智彦

**【目的】** 去勢抵抗性前立腺癌に対し新規AR阻害剤治療中において、病勢の増悪・貧血進行などの無い症例でも疲労・倦怠感をきたすことがわかっている。そこで、去勢抵抗性前立腺癌に対する新規AR阻害剤治療に伴う疲労・倦怠感に対する人参養栄湯の有効性を検討した。

**【対象と方法】** 去勢抵抗性前立腺癌の診断にて新規AR阻害剤治療中の疲労・倦怠感に、人参養栄湯1日3包 毎食前 の内服治療を行った2症例を対象とし患者背景・疲労・倦怠感の変化について後方視的に検討を行った。疲労・倦怠感のスコアリングは、Cancer Fatigue Scaleを用いた。

**【結果】** 2症例ともに去勢抵抗性前立腺癌の診断にてイクスタンジ内服治療中の患者であった。イクスタンジ内服数か月後より疲労・倦怠感を訴えたため、人参養栄湯を1日3包 毎食前の内服を併用し内服開始前、開始後1か月の時点でのCancer Fatigue Scaleを聴取したところ、2症例ともに自覚症状の改善を認め、精神的倦怠感(8点→7点、9点→11点)はあまり改善に乏しいものの、認知的倦怠感(3点→2点、5点→4点)、特に総合点(18点→11点、33点→19点)と身体的倦怠感(7点→2点、19点→4点)のスコアが人参養栄湯併用後に著明に改善した。

**【結語】** 去勢抵抗性前立腺癌に対する新規AR阻害剤治療に伴う疲労・倦怠感に対して人参養栄湯の内服治療は有効である可能性が示唆された。